

## 詐欺等の被害防止に関する注意喚起

令和5年8月15日  
在ドバイ日本国総領事館

### 【ポイント】

- 最近、当館への相談や当地の報道で確認されている詐欺等の手口として以下のようなものが散見されています。
  - ・射幸心を煽る手口～「Salik」への投資を騙るもの、「Big Ticket」の当選を煽るもの等
  - ・不安を煽る手口～ドバイ警察からの罰金支払いに関するメッセージを装ったもの
  - ・ロマンス詐欺～ドバイでの強盗被害を理由に金銭を要求するもの
- 様々な手口の詐欺が横行していることを改めて理解の上、引き続き詐欺に対する高い警戒を維持してください。

### 【本文】

最近、当館への相談や当地の報道で確認されている詐欺等の手口を以下のとおり御紹介します。これまでの当館からの注意喚起等も改めて御覧いただき（以下4参照）、様々な手口の詐欺が横行していることを認識の上、詐欺の被害に遭わないよう、引き続き詐欺に対する高い警戒を維持してください。

#### 1 射幸心を煽る手口の詐欺

##### (1) 手口

###### ア 「Salik」への投資を騙る詐欺

当地の有料道路料金所の管理会社である「Salik」への投資を呼びかける手口の詐欺が横行しています。「投資により高額の報酬が得られる」と称するキャンペーンの情報が、SNS等を通じて、会社や企業のみならず、個人も対象にして送られてきており、情報の受信者に投資を行うよう唆して、「Salik」とは何ら関係のない不正なサイトに誘導し、個人情報等を詐取するものと思われます。

###### イ 「Big Ticket」の当選を騙る詐欺

当地の宝くじである「Big Ticket」の当選を騙る手口の詐欺が横行しています。SNS等を通じて、「Big Ticket」に当選した旨が通知され、「賞金／賞品を受け取るための手続に必要である」などと称して、「Big Ticket」とは何ら関係のない不正なサイトに誘導し、個人情報などが詐取されたり、手続に必要な手数料と称して金銭が詐取されるとのことです。

###### ウ 安価な商品の販売／サービスの提供を騙る詐欺

安価な商品の販売やサービスの提供を騙る広告で注目を引き、不正なサイトに誘導

し、購入手続として多額の金銭を詐取する手口の詐欺が横行しています。この手口の詐欺では、不正なサイトの決済画面上では安価な代金の請求が表示されながらも、実際は高額な請求手続が進められるとのこと。クレジットカードやデビットカードの決済用ワンタイムパスワードの通知上は高額な請求がなされているにも関わらず、被害者はこれに気付かず、不正なサイトの決済画面上の情報だけを信じて決済を終了してしまい多額の金銭が詐取されるようです。不正なサイト上での「37ディルハム」の決済との表示を信用して決済を行い「4,848ディルハム」が詐取されたケースが報道されています。こうした手口の詐欺の広告はSNS上で発信されることが多いようです。

#### エ 「報酬を稼げる」と称するアプリによる事案

「動画を視聴し、『いいね』のリアクションとコメントを投稿するだけで報酬が得られる」との内容で利用者を集めた上、より高額な報酬を得るためにはVIP会員に昇格するための追加投資が必要などと説明していた「Sky Media」というアプリに多額の金銭を振り込んだまま、金銭の返還や報酬を受けることができず大きな損失を出した被害者が多く出ていると報道されています。

### (2) 対策

#### ア 「おいしい話」を安易に信用しない。

「すぐに儲かる」、「簡単に儲かる」と言った文言で被害者を騙す上記(1)アやエの手口の詐欺は、ドバイや海外が舞台なら「あり得そう」と感じてしまいがちですが、短期間で多額の報酬を得られるようなことは、海外でも通常はありません。この点を十分に認識の上、安易にこうした「おいしい話」に反応することがないように慎重に行動してください。

#### イ 公式のウェブサイト等で確認を行う。

上記(1)のアからウの手口のように、大手企業等を騙るメッセージや広告が利用される詐欺において、当該メッセージの内容の真偽が気になる場合には、こうした不審なメッセージに騙されることなく、当該企業等の公式のウェブサイトや代表電話を通じて確認を行ってください。不審なメッセージに従って安易に指定されたリンクを開き、そのまま手続を進めないでください。

#### ウ ワンタイムパスワードの通知内容をよく確認する。

上記(1)ウの手口のように、決済画面上は安価な請求を示しながら実際は高額な請求が行われている可能性もあります。決済画面上の表示のみを鵜呑みにして安易にワンタイムパスワードを入力することなく、ワンタイムパスワードの通知を受信した際には、通知画面において「支払い先」、「支払い金額」が正しい内容であるか再度確認してからワンタイムパスワードを入力するようにしてください。

## 2 不安を煽る手口の詐欺

### (1) 手口

ドバイ警察を名乗り、「(犯人からの要求に)従わなければ大変なことになる」などと不安を煽って金銭や個人情報を詐取する手口の詐欺が引き続き横行しています。従来  
の電話口での手口に加え、最近では、ドバイ警察を名乗るメッセージで「罰金が生じて  
いる」、「期限内に罰金の支払いを終えなければ法的措置が執られることとなる」などと  
不安を煽り、「罰金支払い用」と称する不正なリンクに誘導して金銭を詐取する手口も  
散見されています。

## (2) 対策

### ア 冷静になる。

不安を煽る手口の詐欺では、様々な言葉で被害者を不安にさせ、冷静さを失わせるこ  
とが犯人の第一の狙いです。「警察」、「罰金」、「法的措置」といった言葉を聞いても焦  
ることなく、平常心を保つことが大切です。

### イ 相手の情報を確認する。

相手の連絡先(電話番号やメールアドレス)や連絡内容に不審点がないか確認してく  
ださい。通常、警察が携帯電話やフリーメールアドレスから連絡してくることはありません。  
また、メッセージの宛名や内容で当事者の氏名等が特定されているかも重要なポ  
イントです。メッセージの宛名が「Dear Recipient (受信者様)」などと曖昧な表現で  
あれば、不特定多数に無造作に送信されている詐欺のメッセージである可能性が極め  
て高いです。

### ウ 警察に確認する。

相手の連絡先等を確認しても不安が解消されない場合、警察の代表電話にかけ直す  
などして手続の必要性を確認するようにしてください。ドバイ警察を含む UAE 各首長  
国の警察は、非緊急用の問合せ電話番号(901)を公開しています。冷静さを失い、  
相手からの指示に従って支払い等の手続を進めてしまわないようにしてください。

## 3 ロマンズ詐欺

### (1) 手口

ドバイを舞台とするロマンス詐欺が引き続き横行しています。最近では、「ドバイで  
強盗の被害に遭い、犯人がクレジットカード/デビットカードに不正アクセスしたた  
め、カードが一切利用できなくなり無一文の状態となったので、当面の生活費を工面し  
てほしい。」などと話して金銭を要求してくる手口が散見されています。また、「コロナ  
に罹患し、ホテルでの隔離生活を強いられることとなったが、無一文なので、ホテル代  
が支払えないので助けてほしい。」などと話して、更に金銭を要求してくるケースもあ  
ります。こうしたやり取りにおいて、被害者に話の内容を信用させるため、強盗被害に  
関する警察の証明書、コロナ罹患に関する医療機関の証明書と称する文書を送付して  
くる点も、この手口の特徴です。

### (2) 対策

ア 相手との関係を再確認する。

上記のような手口の詐欺が横行していることを認識の上、SNS 上での交友関係の構築には十分に注意してください。出会いや恋愛の形は様々ですが、相手の素性を十分に理解しているか、冷静に考えるようにしてください。

イ 一人で判断しない。

どのような理由であれ、SNS 上で知り合った者から金銭の要求があった場合には、一人で判断することなく、周りの人に相談するようにしてください。

#### 4 当館ホームページ「安全情報」

[https://www.dubai.uae.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/safety.html](https://www.dubai.uae.emb-japan.go.jp/itpr_ja/safety.html)

上記ホームページの「詐欺被害の防止に関する情報」欄を御参照ください。

今回新たに掲載した資料「詐欺等の被害防止に関する注意喚起（2023年8月）」と併せて、過去の資料や注意喚起もご覧いただき、詐欺の手口や傾向に関する理解を一層深めていただけますと幸いです。